

子ども女性安全対策班

子ども女性安全対策班の設置

近年、子どもや女性の犯罪被害が後を絶たない状況を重く見た警察庁は、平成21年度より警察官を増員すると共に、子どもと女性を性犯罪などの被害から守るための体制を強化している。

具体的には、子どもや女性に対する声かけやつきまといの行為者を見つけ出し、重大な性犯罪に発展するのを防ぐ専従チーム「子ども女性安全対策班」などの設置をするよう、警察庁から各都道府県警察本部に対して通達を出した。

この通達を受け、すべての都道府県警察本部に、「子ども女性安全対策班」が設置された。

設置の効果

平成21年10月の警察庁からの発表によると、同年4月から全国に設置された「子ども女性安全対策班」の約半年の活動によって、性犯罪の「前兆（公然わいせつ、卑猥な言動など）」で645人摘発したということである。このほか、摘発には至らなかった549人についても、誓約書を書かせるなどの指導や警告をした。

地域により異なる名称

「子ども女性安全対策班」は、都道府県によっては「子ども女性安全対策隊」「子ども女性安全対策専従班」「子どもと女性を守る特命捜査室」「J W A T（ジェイワット＝Juvenile and Woman Aegis Team）」などという名称となっているほか、様々な親しみやすい愛称などで呼ばれている。

<愛称をつけている警察>

- ・警視庁（東京） 「さくらポリス」
- ・北海道警察 「J W A T ほとと」
- ・静岡県警察 「特捜イーゼス」
- ・愛知県警察 「J w a t A I C H I」

活動事例

○警視庁「さくらポリス」

心理学を専門とする女性警察官、心理学以外に

もDNA鑑定を学び、性犯罪捜査員として指定を受けたプロの捜査員、少年事件などの捜査経験が豊富なベテラン捜査員などがメンバーとなっている。

事件現場付近の聞き込みや張り込みを集中的に行い、通学途中の女子高校生に対する連続痴漢事件や、帰宅時の女性を狙った公然わいせつ事件など、数多くの事件を解決している。

さくらポリスは発足1年で46人の男を逮捕する成果をあげ、「子ども・女性安全対策専従班」から、平成22年4月1日に「子ども・女性安全対策室」に格上げされた。

○静岡県警察「特捜イーゼス」

平成21年度に新設された「子ども・女性安全対策係」にあっては発足後1年が経過し、検挙・警告数では全国5位の実績を挙げた。本年4月1日からは対策室に格上げされ、通称「特捜イーゼス」と命名して積極的な活動を展開している。

なお、静岡県警は「県民を守る特捜3部隊」として、「街頭犯罪捜査係」（通称・特捜イーグル）、「子ども・女性安全対策室」（特捜イーゼス）、「鉄道警察隊特務係」（特捜イエロー）を設置している。

○島根県警察「子ども・女性安全対策隊」（J W A T）

女子トイレに侵入し、のぞきをした男を逮捕したり、自転車で下校中の女子高生に、車両でつきまとった男に指導・警告をしたり、女兒に声をかけて写真撮影し、住所や氏名を聞いた男に指導・警告をしたりするなど、強制わいせつや強姦などの性犯罪に至る前の時点で、逮捕・指導・警告をしている。